

夢とは、願望に期限を付けたものである

～ JFA ころのプロジェクト「夢先生」～



夢先生の熱いトークに生徒たちは引き込まれた

9月3日、金浦中学校2年生を対象に、夢や目標を持つことの素晴らしさや、努力することの大切さなどを学ぶ、「ころのプロジェクト夢先生」が日本サッカー協会の主催で行われました。

今回は、オリンピック代表などで活躍した山田隆裕さんが夢先生となり、生徒と一緒に体を使った遊びを楽しみました。その後に行われた授業では、サッカーとの出会いや自身の体験談、諦めないことの大切さなどが語られました。授業の最後には、生徒それぞれが将来の夢やそれに向かってどう努力していくかを発表しました。

劇的に変化している「北極」

～ 市民講座：地球環境を考える ～

金浦公民館で9月4日、南極観測隊に参加した経歴を持つ犬ぞり極地探検家山崎哲秀さんと朝日新聞社記者中山由美さんを講師に迎え、エヌポック主催「地球環境を考える」が開催され、市民ら約50人が参加しました。

講演では、南極と北極の違いをさまざまな角度から検証。また、北極観測を行っている山崎さんは「北極では氷りが急激に融け、現状が劇的に変化している」と話し、日本に影響をおよぼす環境観測の必要性を語りました。

また、この日は白瀬中尉の命日にあたり、2人は南極探検隊長白瀬轟顕彰会が主催した追弔会にも参加しました。



写真や映像で現地の様子を紹介

大阪で6週間日本語を勉強しました。日本食も大好きです！



マリカ・ジャクソン
(Marika Jackson)
ニュージーランド出身
金浦中・金浦小を担当します

趣味はアーチェリーです。日本では弓道に挑戦したい！



ティエラ・タンク
(Tierra Tank)
アメリカ出身
仁賀保中・平沢小を担当します

新しいALTが就任
(外国語指導助手)

白瀬南極探検隊が出港した地「東京都港区」との交流

～ 2013 いなか体験 in にかほ ～



大きな野菜に、思わずニコリ

白瀬南極探検隊が出航した地の港区芝浦港南地区から、児童14人と引率7人が、8月20日から22日までの日程でにかほ市を訪れ、横岡地区の農家にホームステイし野菜収穫体験などを通し地域住民との交流を深めました。

20日に到着した一行は、白瀬南極探検隊記念館を見学し、交流のきっかけになった白瀬中尉の足跡を確認しました。21日は宿泊先の畑で野菜収穫体験とそば打ち体験、獅子ヶ鼻湿原の散策など多彩なスケジュールでいなか体験を満喫。夕食のBBQでは自分で収穫した野菜を味わうなど夏休みの良い思い出になったようでした。

風車建設を縁とした新しい交流のありかたを考える

～ 生活クラブ風車「夢風」1周年記念式典 ～

8月24日、生活クラブ首都圏4単協(東京、神奈川、千葉、埼玉)主催で「生活クラブ風車建設1周年記念式典」が風車建設地で開催され、生活クラブ関係者と芹田・飛地区の住民ら145人が参加しました。

式典では、昨年3月20日から稼動した風車の1年間の発電量は約462万kWh(一般標準世帯約1,300世帯分)で、ほぼ当初計画通りの実績と報告されました。翌25日にはスマイルで「にかほ市と生活クラブとの連携推進フォーラム」が開催され、人と人の交流、物産の取り組みを通じた連携などが話し合われました。



風車前での記念撮影

平和への誓い

～ にかほ市平和記念戦没者追悼式 ～

8月28日、仁賀保勤労青少年ホームを会場に「にかほ市戦没者追悼式」が行われ、戦没者の遺族など約160人が参列しました。

式典で、須田豊一遺族会会長は「今また国家間の問題がさまざま見え隠れしているが、絶対に戦争は避けなければならない」と力強く述べました。また、須藤竜也仁賀保高校生徒会長が「平和のためお互いを思いやり、戦争の恐ろしさを語り継ぎたい」と宣言しました。最後には、出席者らが献花台に花を捧げ、戦没者への冥福と平和を祈念しました。



戦没者の冥福を祈り献花する参加者